

凡例 ① 所在地 ② 申請者 ③ 階数 ④ 住戸数 ⑤ タイプ



ソフト+認定

エクステ大倉山



基本情報

- ① 港北区大倉山六丁目
- ② エクステ大倉山管理組合
防災共助委員会
- ③ 地上7階（計3棟）
- ④ 137戸
- ⑤ 既存・分譲



マンション向け地震対応箱MEAS（めあす）▲

▲MEASに収められている指示書（アクションシート）

ソフト+認定の概要

【防災組織】

災害の予防、居住者の安全確保、被害の軽減及び防災共助の推進を図るため、管理組合を母体とした委員会を組織。震度5強以上の地震が発生した場合、委員会メンバーを中心に災害対策本部を設置

【防災マニュアル】

- ・災害対策本部向けと居住者向けの2つのマニュアルを作成
- ・災害対策本部向けには、本部立ち上げから震災後の復旧活動に至るまでの活動を記載
- ・居住者向けには、震災に対する事前の備え及び発災直後の自助による安全確保、本部立ち上げまでの居住者による共助活動を記載



▲災害対策本部の体制

・居住者による初期対応からマンション復旧までの活動指針として、「マンション向け地震対応箱MEAS」を採用

【防災訓練】

大地震発生から災害対策本部設置、安否確認、住民救助までの訓練を実施（令和5年度、参加戸数100戸）。結果を踏まえ、地震対応箱MEASの内容をカスタマイズ

【飲料水等の備蓄】

最低3日間は自宅で生活できるように、飲料水、トイレパック、食料等を各家庭で備蓄

【地域との協力体制】【地域との防災訓練】

防災共助委員会が太尾小学校地域防災拠点運営委員会に参加し、地域防災拠点を運営するとともに、防災拠点立上げ訓練等を実施